

経済社会学会年報XIX

■大会実行委員長挨拶

■特別講演

A Reconsideration of the Problem of "Macht oder ökonomisches Geset" from the Viewpoint of Globalization

関々田孝夫……3

Michio Morishima……5

■共通論題「グローバル時代の経済と社会」

グローバリゼーションとアジアの経済・社会変動

長谷川報告へのコメント

ヨーロッパにおける労働移動の社会的影響

森田報告へのコメント

Globalization and Business Ethics

Nagayasu 報告へのコメント

長谷川啓之…… 26

園田 茂人…… 34

森田 勲…… 37

田村 正勝…… 49

Yukimasa Nagayasu…… 52

佐々木實雄…… 60

■準共通論題

社会開発論の歴史と開発社会学の課題

産業地域における企業間関係とグローバル化

企業活動の国際化における「制度的」課題：製品開発活動における完成品メーカーと部品メーカーとの関係に着目して

恩田 守雄…… 62

千葉 隆之…… 67

安本 雅典…… 75

■自由論題

市場戦略とパラダイム変革

家庭ごみ減量化対策としての処理費用有料化の効果

柔軟な経営—企業組織のネットワーク化

アダム・スミスの教育論

井原 久光…… 86

落合由紀子…… 94

唐沢 昌敏……103

関 勲……108

■自由投稿論文

ヘーゲル職業団体論再考—自由と制約との共存の現実的可能性について—

労働党の国有化・保守党の国営化—英国社会主義の文脈—

生活の論理と近代技術の論理—技術批判の根本課題—

経済行為の成立根拠が「不完全競争」要因の独占に起因することの帰結

ネットワークの形成原理

社会の時間内存在性指標としての人口—マルサスにおける社会システム観—

業態別の勤務時間及び休日分散化について

わが国の高齢化の進展と経済成長—その中心的論点—

宇野 正昭……109

尾上 正人……120

田中 人……130

西山 俊彦……141

朴 容寛……151

挾本 佳代……162

森 浩晴……173

森山 玲子……181

■書評

猪木武徳『デモクラシーと市場の論理』

春日淳一『経済システム』

片山邦雄『近代海運とアジア』

見田宗介『現代社会の理論』

渡辺幹雄『ハイエクと現代自由主義』

東條 隆進……191

富永 健一……193

伊原吉之助……195

奥田 和彦……197

長屋 泰昭……200

■全国大会プログラム……202

■学会会則……204

■編集後記……206

経済社会学会年報XIX

共通論題「グローバル時代の経済と社会」

1997

経済社会学会編

現代書館発売

編集後記

- 毎年8月、締切を気にしながら編集作業をするとき思うことは、とにかく早めに原稿依頼をすること。来年は今年以上に早めに編集作業に取りかかりたい。(MO)
- 自由投稿論文が充実し、本誌がボリューム・アップし、同時に、本学会も益々社会的役割の増大が期待されればよいと思います。(SH)
- 今回からはじめて編集委員として参加させていただきました。先輩諸氏のアドバイスに従い、家事と育児の合間をぬって盛夏の飯田橋に集い、ハードながら楽しいひとときを体験しました。(HY)
- 今年の夏は、千葉県の柏市と飯田橋の間を何回も往復しました。前任者のM先生から仕事を引き継いだのですが、結構大変なものには驚いています。執筆者の皆さんとのコミュニケーションが十分でなく、ご迷惑をおかけしました。また、現代書館の菊地社長さんをはじめ、スタッフのみなさんにはお世話になりました。(TT)

経済社会学会 年報編集委員会

定価3500円+税

土屋武夫(委員長)/鉢野正樹/居安正/恩田守雄/後藤隆/保坂俊司/吉尾博和/大西秀典/竹下公規

経済社会学会年報 XIX

1997年9月19日 初版第1刷発行

編者 経済社会学会

〒657 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学経済学部気付

電話(078)881-1212

編集者代表 土屋武夫

発行者 野尻武敏

発売所 株式会社 現代書館

〒102 東京都千代田区飯田橋3-2-5

電話(03)3221-1321 郵便 00120-3-83725

写植一ツ橋電植

印刷・製本 平河工業社

ISSN 918-3116